

公益社団法人 地盤工学会
平成23年度 第3回技術普及委員会
議事録

日時	平成23年9月1日(木) 10:00～13:00					会場	地盤工学会地階A会議室	
委員長	村田 芳信	○	幹事	秦 樹一郎	○	幹事	渡邊 康司	○
委員	王 林	○	委員	栃尾 健	○	委員	長屋 淳一	○
委員	野末 康博	○	委員	山川 優樹	○	委員	山中 捻	×
委員	林 豪人	○	委員	辻村 崇	○	委員	後閑 勇	○
委員	喜多川 俊介	×	委員	松本 幸久	○	事務局	廣松 さおり	○
○:出席 ×:欠席								

報告・確認事項

1. 議事録担当者 (資料-1)
松本委員が指名された。
2. 前回(6/16)議事録の確認 (資料-2)
前回議事録(栃尾委員担当)が承認された。
・辻村委員は、コース制WG(WG長)とオンデマンドWGの兼任とする。
3. 事業部会(6/16)議事録案 (資料-3)
村田委員長より、第2回事業部会の概要について報告があった。
4. 第4回理事会(7/29)議事録案 (資料-4)
村田委員長より、第4回理事会の概要について報告があった。
5. オンデマンドWG(8/9, 8/31)議事録案 (資料-5)
渡邊幹事より、オンデマンドWG(8/9, 8/31)の概要について報告があった。
・『地山補強土工法 設計・施工マニュアル』の出版に伴い、今年度中に講習会を開催し、OD収録も行う。
・新規OD収録について、コンテンツ絞り込みの結果、入門シリーズの2編が選定された。(審議事項3を参照)
・G-CPDポイントは“1.0時間=1.0ポイント”である。チェックシート(渡邊幹事作成)により確認すること。
6. 図書出版作業進捗状況 (別添資料-1)
事務局より、図書出版作業の進捗状況について報告があった。
・実務シリーズ29『土の締固め』は、原稿完成。今年度中に講習会を開催予定(担当:渡邊幹事)。
・「山留め～」の書名は、『山留めの創意工夫となるほど納得Q&A』に変更。講習会は11/29に開催予定。
7. 平成23年度講習会アンケート結果 (資料-6)
8. 平成22年度講習会収支報告(平成23年6月, 7月開催) (資料-7)
各担当委員より、講習会の開催結果が報告された。
 - (1)『地盤環境振動対策工法』講習会(担当:今井委員→辻村委員)
・古いデータが含まれているとの意見があった。来年は新しい情報を追加して開催する。
 - (2)『海外工事・国際協力』講習会(担当:伊藤委員→林委員)
・各講師の講習内容にレベル差が見られた。
・来年は“講演会”とし、対象者の幅を広げ、経験談等についても話してもらおう方向で調整する。
 - (3)『地盤連続体力学入門』講習会(担当:長屋委員)
・少し難しかったようだが、連続体力学を学ぶきっかけとしては良い講習会である。学生の参加者多数(11名)。
・九州大学橋口先生より、企画を持ち込みたいとの話がある。それを踏まえた上で、来年の企画を検討する。
 - (4)『はじめて学ぶFEM』講習会(担当:事務局→山川委員)
・学生の参加者が少なかった(6名)。来年は、学生も多く参加できる時期(夏休み等)で検討する。
 - (5)『地盤工学者のための舗装入門-基礎から応用まで』講習会(担当:山川委員)
・応用的な内容も多く含むため、来年は“中級レベル”に変更した方が良いと思われる。
・講習内容およびテキストを修正する方向で、吉田先生と相談する。
 - (6)『既設構造物直下の液状化対策工法』講習会(担当:松本委員)
・緊急開催にもかかわらず参加者多数(62名)であった。震災の被害事例等を話してもらったためと思われる。

(7)『土質・基礎に関する技術』講習会(担当:渡邊委員)

- ・伊藤先生の模擬問題が非常に効果的であったため、来年はぜひ他の先生にもお願いしたい。
- ・テキストのみの販売は、著作権の問題があるため不可。会告に、合格者の体験談を載せてはとの意見あり。

(8)『施工・維持管理に配慮した基礎構造物の計画』講習会(担当:舟橋委員→後閑委員)

- ・震災の影響により延期になったため、受講者が減ってしまった(30名→14名)。
- ・内容も良く、満足度の高い講習であった。来年はコマ毎の調整(内容の統一)が必要である。

(9)その他

- ・次回委員会からは、A3:1枚で、アンケート結果、収支報告、受講者の職種・年齢層が分かる資料を用意する。

9. 予算スケジュール

(資料-8)

事務局より、予算作成スケジュールについて説明があった。

- ・10/28に平成24年度の第1次予算案提出のため、それまでに来年度の講習会の企画を詰める必要がある。

10. コース制修了証の発行について

(資料-9)

事務局より、コース制修了証の雛形が提示された。

- ・既修了者に、修了証を送付する(理事会承認済)。本人の了解を得た後、学会誌へ掲載する。
- ・近日中に、コース制WGを開催する。

審議事項

1. 平成23年度講習会開催について

(資料-10)、(別添資料-2)

(1)会告案(資料-10)

- ・『はじめて学ぶ土壌・地下水汚染』、『地盤・耐震工学入門』講習会は、会費の見直しを行った。
- ・『わかって使うFEM』講習会は、事務局の補佐として秦幹事が担当する。
- ・『第2回オンデマンド講習会@JGS会館』は、予定どおり実施する。各日の担当は前回議事録どおり。
- ・『やさしい補強土』講習会は、半日から1日にプログラムを変更して開催する。
- ・『山留めの創意工夫となるほど納得Q&A』講習会は、OD収録は行わない。
- ・『続・既設構造物直下の液状化対策工法』講習会は、“戸建住宅の沈下修正事例”を追加し、11月開催予定。
- ・『近接施工』講習会は、“新訂版”もしくは“改訂版”なのかを赤木先生に確認する。

(2)一覧表(別添資料-2)

- ・『地盤の応答解析入門』講習会は、講師からの返答待ち。2~3月開催予定。
- ・『地盤に関する解析技術(粒子法)』講習会は、講師・内容について調整中。12月以降開催予定。
- ・『模型実験入門』講習会は、林委員が担当する。1~2月開催に向けて調整する。
- ・『地盤工学における性能設計入門』講習会は、出版の遅れにより、今年度は中止。
- ・『シールド工法(仮題)』講習会は、12月に出版予定。調整を進める。
- ・『土の締め固めに関する最新技術』講習会は、11月に出版予定。出版企画委員会と調整する。
- ・『地盤災害の復旧事例』講習会は、テーマを絞って調整する。
- ・『地山補強土工法 設計・施工マニュアル』講習会は、王委員が担当する。2月開催予定。
- ・全地連フォーラム(7/15)で、「災害廃棄物の現状と処理・処分のあり方」について、山中先生が講演された。今年度、本テーマで講習会を企画する(山中先生了承済み)。

2. 関東支部栃木県Gの勉強会での本部コンテンツの利用について

(資料-11)

- ・コンテンツの利用について、特に問題は無い。(できれば、OD講習会の団体視聴を利用してもらいたい。)

3. 次年度講習会の企画について

(資料-12)

- ・入門シリーズの2編について、講習会を開催しOD収録を行う。OD撮影・編集費は、講習会費用で賄う予定。
 - ①「地盤工学入門」(担当:渡邊幹事)・・・書籍在庫に余裕あり(8/25時点, 280冊)
 - ②「土の強さと地盤の破壊入門」(担当:王委員)・・・絶版のため、講習会用テキストの作成が必要
- ・軟弱地盤や圧密に関するテーマで、新たな講習会を企画する(担当:渡邊幹事)。
- ・来年度の講習会の計画表を作成する(事務局)。

4. その他

- ・各社で、講習会案内のダイレクトメールがどのように取り扱われているのか要確認。

5. 事業部会への報告・審議事項

- ・上記報告事項5、8、および審議事項1、2、3